

(1) ヘルパー技術向上のための研修会の可能性について

【課題の概要】(課題通し番号1)

- ヘルパーの知識や技量について、発達障がい者の知識の不足、支援の技量が年々低くなっている、そもそもヘルパーを養成する研修の場が少ない、現場での人材不足が深刻、といった困りごとがある

★同様のケース(地域部会へのアンケートから)

- 行動援護や朝の通学支援を行う事業所が少ない
- ヘルパーの地位地域向上、職業としての意義をPRする必要性
- モチベーションを上げてもらうための施策が必要
- 研修、教材を気軽に受講できる、入手できる環境(事業所の理解、費用、日時、回数等)
- 研修と言っても様々、支援の対象、技術内容
- スーパーバイズ、アドバイスするプロが必要
- 人材不足は深刻で新規利用者に対応できないことがある
- 居宅介護事業所の集まりについては各区により差がある

まちプロとして
せり整理

★現在の取り組み・工夫

- 地域部会における研修の実施(発達障がい、就労支援等)
- 区内の居宅介護事業所が幹事を持ち回りで毎月勉強会を開催している
- 特定の居宅介護事業所が中心となり、毎月勉強会を開催している
- 区内の複数の事業所が会費を集めて、年1回集まりを開催している。
- 地域部会に居宅部会を設置し活動予定
- 区在宅ケア連絡会主催の介護保険事業所の勉強会に講師として参加して、連携を始めている

【課題解決に向けた方向性】

◆新たな事業や既存の社会資源の活用

- 市全体として研修を行う必要性がある
- 特に障がい分野の支援を学ぶカリキュラムが少ない
- 各区地域部会において居宅介護事業所等が集まり、居宅部会を設置、研修会の開催
- これからヘルパーを担う学生等に対する体験学習、PRイベント

◆制度の拡充

- ヘルパーの社会的地位の見直し、処遇改善
- 事業所の自主的な研修に補助が出る仕組み

次年度、自立支援協議会と市がヘルパー研修会を主催し、研修会の目的(専門性向上、人材育成、職能組織を目指してはどうかというご提案)を明確に打ち出す。

へいせい26ねんど とりくみ ひがしくちいきぶかい たんとう
平成26年度の取組（東区地域部会が担当）

- ・「ヘルパーの人材確保とその育成」をテーマに9月28日にシンポジウムを開催するにあたり、東区障害者自立支援ネットワークの定例会において、実際に現場で活躍されている方々に集ってもらい4回に渡り検討を行った。
- ・シンポジウムにおいては、「適正な賃金と労働条件の保障」、「福祉・介護労働のイメージアップ」、「スキルアップの支援とキャリアパスの明確化」と3つの提言があったもので、その概要はホームページに掲載しているところ。
- ・シンポジウムにおいて人材育成が大切との提言を受け、3月21日に開催したふくしまルシェで、ヘルパーの人材育成のための実技研修「求められる介護～日常生活の動作介助を学び直そう～」を実施したものの。
- ・平成27年度も引き続き、同じ講師による研修を実施したいと考えている。

へいせい ねんど とりくみ ひがしくちいきぶかい かだいせいりぶろじえくとち一む たんとう
平成27年度の取組（東区地域部会・まちの課題整理プロジェクトチームが担当）

- ・東区地域部会では、3月12日に開催したふくしまルシェにおいて、介護動作の基礎的な動きに着目し、平成26年度の研修のレベルアップを目指し、昨年と同じ講師による実技研修を実施した。介護職の資格を有する研修の受講者からは、介護の基礎動作を再確認できたとして、研修内容を高く評価する意見が多く聞かれた。
- ・まちの課題整理プロジェクトチームとして、9月29日に東区地域部会運営会議に出席して意見交換を実施。東区地域部会の取り組みを基に市全体で開催する場合は、関心のあるメンバーを募り、チームを作って検討していくという方向となった。
- ・チーム作りのために、事務局として関係者に協力依頼を打診中。次年度、検討チームを設置し、全市における研修体系を整理する予定。